



トップ > ムハンマド・アブダビ皇太子と揺れ動く中近東のいまを語る --- 河井 克行

[エネルギー](#)[国際](#)[転載ブログ](#)

ムハンマド・アブダビ皇太子と揺れ動く中近東のいまを語る --- 河井 克行



ゲストプロガー

2017年11月28日 06:00

[フォローする](#)[いいね! 22](#)[シェア](#)[ツイート](#)[Pocket](#)

11月24日夜、ハリーファ大統領が長期療養中で、事実上のUAE大統領の役割を担っていると思われるムハンマド・アブダビ皇太子兼連邦軍副最高司令官と皇太子宮殿で会談を行いました。今年4月につづく今回のアブダビ訪問は、ムハンマド皇太子の求めに応じたものです。4月の初会談は予定の20分間を大きく上回る一時間半におよびましたが、この度も予定を超える約1時間、二国間関係やイラン、シリア、カタール、サウジアラビアなど中近東地域情勢全般につき、実り多い意見交換を行いました。

特に、来年3月に期限がくる日本が保持してきた海上油田権益の更新について、大変良い意見交換を行うことができたことは収穫でした。さらに、航空自衛隊最新鋭C-2輸送機の移転をはじめ、日本との防衛協力のいっそうの深化についても皇太子から積極的な決意が示されました。

ムハンマド皇太子殿下は、お会いするたびに“安倍首脳外交”に対して大きな関心と深い敬意を表されます。いつも強く感じるのは、自国のみならず中近東地域全体、そして世界の情勢にも実に広く深い見識をお持ちだということです。

激しく揺れ動く中近東地域を動かす主役の一人であるムハンマド皇太子と安倍晋三内閣総理大臣の三回目の会談が早期に実現することを強く期待いたします。

以下は、在UAE日本大使館が公表したムハンマド・アブダビ皇太子との会談の概要と、会談後に撮影した写真です。

『ムハンマド・アブダビ皇太子の会談と河井自民党総裁外交特別補佐ムハンマド・アブダビ皇太子の会談』 平成29年11月24日

11月24日、アラブ首長国連邦(UAE)を訪問中の河井克行自民党総裁外交特別補佐は、約一時間にわたりムハンマド・ビン・ザーイド・アブダビ皇太子と会談したところ、右会談の概要以下のとおり。

○冒頭、ムハンマド皇太子から先般の衆議員総選挙で大勝したことへの安倍総理への祝意が伝えられた。

○河井総裁外交特別補佐は、来年の海上油田権益延長について、ムハンマド皇太子からの協力を得たい旨発言した。これに対し、ムハンマド皇太子は、石油を含めた日本との協力を次世代においても続けていきたい旨強調した。

○河井総裁外交特別補佐とムハンマド皇太子は、イラン核合意などの中近東の諸問題について有意義な意見交換を行った。

○河井総裁外交特別補佐とムハンマド皇太子は、テロとの戦いを進める必要性について認識が一致した。

○河井総裁外交特別補佐とムハンマド皇太子は、防衛協力は両国の重層的関係の厚みを増す契機となるものであり、その一層の深化を目指す重要性で認識が一致した。



河井 克行（かわい かつゆき）衆議院議員（自民党、7期・広島3区）。

党総裁外交特別補佐。内閣総理大臣補佐官（外交担当）、党総務会副会長、衆議院外務委員長、党副幹事長、法務副大臣、党国防部会長、外務大臣政務官などを歴任。